

第16回日本在宅医学会大会 浜松大会 多職種間連携教育 模擬カンファレンス ～公開担当者会議～

日 時：2014年3月1日（土）10:00～11:40

会 場：グランドホテル浜松 鳳（東）

対 象：在宅医療に関わる医療福祉従事者

※大会への参加登録が必要です。職種ごとに定員を
決めさせていただきます

申込締切：2014年2月20日（木）

※定員になり次第、締切とさせていただきます

座 長：木村幸博先生（もりおか往診クリニック 院長）

企画者：吉村 学先生（地域医療振興協会 揖斐郡北西部地
域医療センター/シティタワー診療所 センター長）

【企画概要】

多職種との連携をすることは在宅医療を行う医療人には必須のコンピテンシーである。しかしながらその教育は卒前・卒後教育でも十分とはいえない状況にある。世界的にも10年以上前からこの領域の教育に関しての関心が高くなっており、多職種間連携教育Interprofessional education（IPE）として注目され、カリキュラム改革の大きな波が来ている。

今回は、複数の職種で構成したグループ毎にシナリオに基づいた在宅場面での担当者会議（模擬カンファレンス）を再現してもらい、そのIPEについて体験してもらいます。オブザーバーとしても参加可能です。多職種連携の研修を企画する立場にある方、職場で複数の実習生を抱え研修している皆さま、マンネリ化したを何とかしたいと考えている皆様には何かしらのヒントが得られるかも知れません。

なお当日は、揖斐川町・池田町・岐阜市の多職種の仲間がサポーターとして登場する予定です。

【吉村 学先生 ご略歴】

1991年宮崎医大卒、自治医大医地域医療学（五十嵐正紘教授）にて研修して群馬・栃木の地域医療を経て1998より岐阜県揖斐川町（旧久瀬村）の当センターに赴任。過疎化の進む山間へき地にて地域包括ケアを目指して診療する傍らで、700名を超える医学生・研修医を地域で教えてきた。患者宅でのお泊まり実習や置き去り実習などの「むちゃぶり実習」と称される実践型教育をする一方で5年前から多職種間連携教育「ごちゃまぜ研修」も開始して300名超が体験しており、医師会や現職対象も企画して実践している。

